

対話の日

～ 6月22日(木)南平原自治会館を取材しました～

市民のみなさんとの円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、市長自らが市内各地に出向き開催されている「対話の日」～昨年7月からはじまった取り組みですが、どの会場も多くの方が訪れ、地域の課題や市政の問題について、市民と市長の間で率直な意見交換が行われています。

今回は、6月22日(木)に南平原自治会館で行われた「対話の日」の様子をお伝えします。

なお、9月からは「対話の日」は月2回となりました。お近くで開催される際にはぜひ、いらしてください。

【問い合わせ先】 広報広聴課 ☎ 82-1133

市民



語る

市長



答える

市民



聞く

市民



考える

同じ目線で語り合う

南平原自治会館にお集まりいただいた市民の方は約60人。開始時間の19時には市長を扇の要にして、その周りをぐるっと取り囲む地域の方々の熱気であふれていました。

まず最初に、市長から現在の市役所の様子や近況についての報告。真剣に耳を傾けるみなさんの面持ちは真剣そのもの・・・しかし、そんな少し固い会場の雰囲気も「それでは、みなさん何かありませんか」とマイクを差し出す市長の一言でほぐれ、その後は「新聞で次の合併について取り上げられていましたが、近い



うちにまた合併するのですか？」などと盛んに質問の声があがりはじめました。その声、一つひとつに耳を傾け、丁寧に答える市長。中にはメモをとる熱心な参加者の姿も見られました。

両者の間でマイクが行き交ううちに、あっという間の2時間が過ぎ、「対話の日」は盛況のうちに終了。同じ目線でともに語り合った会場から家路につく参加者の胸には、ふるさとを想う熱い気持ちが共有されたことでしょう。

9月からは月2回開催されることになった「対話の日」。お近くで開催される際は、ぜひ足をお運びいただき、市長とともに市政について意見交換してみませんか。